

# 競 技 注 意 事 項

**※今大会はメインスタンドのみ利用可能です。各学校などの場所取りはできません。**

## 1 競技規則について

- (1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。
- (3) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

## 2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

| 競 技 種 目       | 招集開始時刻      | 招集完了時刻      |
|---------------|-------------|-------------|
| トラック競技 予選     | 競技開始 6 0 分前 | 競技開始 2 0 分前 |
| トラック競技 決勝     | 競技開始 3 0 分前 | 競技開始 1 5 分前 |
| リレー競技 予選・決勝   | 競技開始 3 0 分前 | 競技開始 1 5 分前 |
| フ ィ ー ル ド 競 技 | 競技開始 9 0 分前 | 競技開始 6 0 分前 |

### (3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人が招集所の競技者係から確認（招集）を受け、各競技の場所で最終点呼を受ける。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ リレー競技に出場する選手（4名全員）は、招集時刻内に招集所にて招集を受ける。ただし、その時間に他種目に出場する選手がいる場合は、その旨を招集時に競技者係に申し出ること。
- ④ 棄権や選手変更をする場合は、記録室から指定の用紙を受け取り、記入後に記録室へ提出する。その後、用紙を招集所に提出すること。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑥ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。オーダー用紙の提出後は変更できない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。大会ドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
- ⑦ リレー種目で大会ドクターかトレーナーからの診断を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日に大会へ参加する場合、再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
- ⑧ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

## 3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを右腰やや後方につけること。
- (3) 跳躍種目の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

#### 4 競技について

- (1) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目及び走幅跳は9mm以下、走幅跳以外のフィールド種目は12mm以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。
- (3) 男子共通3000mSCに出場する選手は、スパイクシューズを履いて出場しなければならない。スパイクシューズを履いていない選手は、安全面の観点から出場させない。
- (4) トラック競技において、欠場者のレーンは、そのまま空けておく。
- (5) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (6) 男女800m予選は、1レーンに2名のセパレートレーンで行う。
- (7) 女子3000m決勝は、AB同時にレースを行う。
- (8) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (9) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても位置を変えてはならない。  
なお、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (10) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (11) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件等により変更することもある。  
男子A走高跳 1.70 1.75 1.80 1.85 1.88 （以降3cm刻み）  
男子B走高跳 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.88 （以降3cm刻み）  
女子A走高跳 1.40 1.45 1.50 1.53 （以降3cm刻み）  
女子B走高跳 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.53 （以降3cm刻み）  
男子棒高跳 2.50 2.70 2.90 3.10 3.30 3.50 3.70 3.80 （以降10cm刻み）  
女子棒高跳 1.80 2.00 2.20 2.40 2.60 2.80 2.90 （以降10cm刻み）
- (12) 投てき競技に出場する競技者は、役員の指示に従い事故防止に注意すること。
- (13) 通信機器（携帯電話・トランシーバー等）、音楽端末機器等の競技場内への持ち込みは禁止する。  
競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。
- (14) 男子A5000mはスタート後18分30秒、男子B3000mはスタート後12分、男子共通3000mSCはスタート後12分、女子AB3000mはスタート後13分、男子共通5000mWはスタート後35分、女子共通5000mWはスタート後40分でレースを打ち切る。ただし最後の直線に入っている選手はゴールさせる。
- (15) 男女AB1500m、男A5000m、男B3000m、女AB3000m、男女共通5000mW、男共通3000mSCはタイムレース決勝とする。

#### 5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、当該競技者の最下位に同記録が複数出た場合写真判定により0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、「同着」としてレーンに余裕がある場合には、次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選とする。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者（0.001秒単位の時間まで同記録）は全員次のラウンドに進出できる。
- (2) 抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。
- (3) 予選タイムレースの競技については、記録上位8名（チーム）が決勝に進出する。

#### 6 リレー競技と女子400mHのB決勝について

- (1) リレー競技と女子400mHについては、1～8位決定の決勝（A決勝）の他に、県大会出場権（9・10位）決定のためのB決勝を行う。B決勝の進出については、タイムレース予選の記録9位～16位とする。

## 7 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは個人持参物の使用を認める。男女やりについては、個人持参物を主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) 槍の検査は、用器具倉庫（第4ゲート外側）付近にて時間（通告する）を決めて行う。

## 8 練習について

- (1) フィールド種目の練習は、招集後に本競技場内で行う。
- (2) 投てき練習場での練習は、ハンマー投のみ6月21日(土)の9時まで認める。投てき練習場へは、関係者以外は立ち入らないこと。ハンマー投は、本競技場で公式練習を2回行う。
- (3) 練習については事故防止のため、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (4) 雨天練習場の使用は、安全管理を徹底して利用する。
- (5) 補助競技場でメディシンボールなどの投てき物を使った練習は禁止する。

## 9 表彰について

- (1) 表彰は行わない。第3位までの入賞者に賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来ること。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までに賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来ること。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。

## 10 県大会について

- (1) 本大会A種目第6位・B種目第4位までの入賞者は、県大会（7/5～6 博多の森陸上競技場）の出場資格を得る。ただし、リレー競技・ハンマー投・男子3000mSC・女子400mH・女子三段跳・競歩競技は第10位とする。棒高跳は第10位までの入賞者10名とする。
- (2) 県大会出場資格を得た学校は、所定の手続きを行う。「仮申込書」は本大会終了後速やかに（大会中でも可）大会本部へ提出する。なお、正式申込書等については県高体連か福岡陸上競技協会のホームページよりダウンロードし、7月2日（水）必着で専門委員長（筑紫高校 笠原）宛に送付すること。
- (3) 県大会の参加負担金は、個人種目1種目につき1,000円、リレー種目1種目につき2,500円とする。振り込みに関しては大会要項を確認すること。

## 11 その他

- (1) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (2) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (3) 各校の応援用横断幕・のぼりは、サイド・バックスタンドの中段以上とし、スタンドの一番下には張らないこと。のぼりはメインスタンド最上段に掲示してもよい。
- (4) フィールド競技を行っている際のその付近での応援は禁止する。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。100mスタート付近の更衣室のみ利用可。
- (6) ゴミについては、各学校で責任を持って持ち帰ること。
- (7) ビデオ等を見せる場合は、指定されたエリア（安全且つ競技運営に支障のない場所）で各チームが準備したひもやかご等の道具を使って録画機器を受け渡しすることができる。ただし、安全には十分配慮すること。また、機器の破損等が生じた場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、機器の投げ渡しや身を乗り出での危険な状態での受け渡しは認めない。